

わたしたちの地域シリーズ 第9回

「困った」を支える事業を増やそう！ つながるまち 北区・東区

北区には「子育て支援」2団体、東区には「在宅福祉」「戸別配送」の2団体のワーカーズがあります。区の境を越えて行政とつながり、必要なケアをお届けしています。生活の中の「困った」に応えるために、地域にワーカーズの事業が増えることをめざして、それぞれの地域で活動を進めています。

子育て支援ワーカーズ とともに

代表：見尾 友美 設立：2012年

設立の目的や想い

「北海道大学保育所とともに」の運営団体として、子どもたちが自分らしくのびのびと過ごすことができる場所。保護者の皆さんには家族のように安心してお子さんを託すことができる場所。それぞれの思いに寄り添い「ここで子育てを一緒にできてよかった」と思える保育所をめざして12名で設立しました。

現在の事業

保育所には現在、0～5歳児まで60名の子どもたちが在籍しています。木や手作りのおもちゃ、わらべうたを取り入れた保育と、食材にこだわった食事を提供して食の大切さを伝えています。



大学の敷地内にあるので、自然豊かなキャンパスで季節の移り変わりを感じながら散歩をしています。

実践している地域とのつながり

■大学や学生との連携で北大祭のこども企画に参加しました。また、誕生会では学生による吹奏楽演奏をしていただきました。歯学部の学生さんが子どもたちに歯の大切さとブラッシングを教えてくださいました。

■プチトマトとは、保育に関する情報交換を行っています。

地域連絡会

北 北斗

福祉をテーマに地域の方々の困りごとをリサーチすることから始め「たすけあいまちづくり」について考えています。避難場所としての公園点検、選挙投票所となっている小学校のバリアフリー点検など、調査活動を継続して行っています。

子育て支援ワーカーズ プチトマト

代表：大清水 妙子 設立：1995年

設立の目的や想い

「自分たちの住む街で子育てを支援する仕事がしたい」という願いから6名でスタート。核家族が増えて、隣人とのつながりが希薄になっている世の中で、互いに支えあい、心豊かな子育てのできる地域社会をつくることをミッションにしています。

現在の事業

子どもに合ったおもちゃを持参し自宅を訪問する保育を中心に、札幌市地域子育て支援拠点事業子育てサロン「ぶちひろば」を週5回開催。また、地域の方たちが誰でも集える居場所として三世代交流ひろば「Café^{あまんと}亜麻人」もあります。

札幌市小規模保育事業所A型「プチトマト保育室」では、保育を通して子どもは社会の中で育つ事を実感しています。北海道大学が近くにあるため、様々な国籍の子どもたちが在籍することも特徴です。

実践している地域とのつながり

■「プチトマト保育室」では、お散歩中に商店街の皆さんに笑顔や声かけをいただき、地域の方々とともに子どもを見守り育てていく環境を作っています。

■子育て中の家庭と地域がつながっていただけるよう、麻生地区の地域ネットワーク会議へ参加、北区まちづくり協議会に参画し活動しています。メンバーの一人が麻生商店街振興組合の理事を務め、防災マップ作りにも携わりました。



大好きなおはなしの時間



フリーマーケットの様子

たすけあいワーカーズ そよ風

代表：大谷 里子 設立：1995年

設立の目的や想い

ワーカーズ運動を生活クラブと一緒に進めていた時期に、自分たちでできることは何か、得意なことは何かと有志メンバーで話し合い、「地域にたすけあいのしくみづくりをしたい」と10名で設立しました。介護保険制度が始まる前で、チケット制にて生活支援「たすけあい事業」からスタートしました。

現在の事業

介護保険や障がい福祉サービスの訪問介護事業をしています。たすけあい事業は要望がかなりあり、人員不足が悩みです。資格がなくてもできる仕事なので、働きたい方はぜひ声をかけてください。

実践している地域とのつながり

■地域サロン「ふらっと＊つどるーむ」を定期的に開催していました。地域の中の孤立化防止のための居場所づくりとして始まり、週2回ランチやスイーツを提供し、誰でもふらっと立ち寄れる場所として定着していました。また、利用者さんとスタッフの交流会「よってかない会」も20年近く続けてきました。

■包括支援センターから、介護保険制度では難しい仕事や片づけなどの依頼を受けたり、大学生のボランティア団体「まごのて」へもつながりました。また、地域の住民組織と行政、支援事業所団体が構成されている、東区社会福祉協議会の生活支援体制整備事業会議に出席し、情報交換しています。



おいでや市で地域交流

企業組合 LaLaスマイルCOCO

代表：新吾 育子 設立：1997年

設立の目的や想い

生活クラブ運動を展開していくなかで、高齢者や女性の社会進出などで班活動が難しい人でも加入できるように、1997年に戸別配送が導入されたことに伴い、同年10月に設立しました。配達だけでなく組合員とのコミュニケーションを大切に、食・環境・福祉などを共に学びながら、生活クラブ運動を広げていきたいと考えています。

現在の事業

生活クラブ生協戸別組合員への配達と共同購入活動のサポートをしています。

配達という仕事を通して、生活クラブの理念や消費材の優位性を組合員へ伝えることや、ワーカーズ同士がつながるきっかけを作る役目があると思います。勉強会や情報交換をしながら一人ひとり責任をもって仕事をしています。

実践している地域とのつながり

■地域の中で地域に根ざした働き方を提供しています。配達中に気付いた地域の問題点などを部会や地域連絡会で共有し、課題として提案しています。



地域連絡会 東

東区の公園調査などを行い、行政に申し入れをしています。また、働いているお母さんが多い割に、情報不足や不安を解消する場所が十分ではありません。近くに頼れる人がいないなど現状は変化しているので、地域ぐるみで子どもを見守るためにも、子育て支援ワーカーズの必要性を感じます。